



## 家庭科で子供たちの生活創り

昨日5日(火)の5時間目に家庭科室を覗いてみると、子供たちが楽しそうに調理実習に取り組んでいました。昨年度の5・6年生の調理実習は、感染症対策の一環として、家庭で調理の様子を動画で撮影してもらい、それを担当が一人一人観て評価をするという形をとっていて、とても手間暇かかる時間になっていました。



今年度は、調理実習も感染を予防しながら取り組んでいます。例えば、昨日の調理実習ですが、学級を半分に分けて、一方は調理実習、一方は調理実習のサポートで、調理している仲間の動画撮影をします。調理が済んだら、役割を入れ替わります。また、調理実習では、みんなの分の調理ではなく、あくまでも自分の分だけを作り、それを自分が食べるという形をとっています。

昨日の授業では、朝食の役割について考え、炒める料理で朝食のおかずづくりに挑戦していました。考えてみると、世界中で“STAY HOME”が叫ばれ、人々は自由に外出できず家に閉じ込められていました。そして家の中で何ができるか、どのように生活を楽しむかについてみんなが考えていたと思います。お料理やお菓子を作ったり、手芸に凝ったり、普段できない片付けや掃除をしたり、家族とのコミュニケーションを充実させたり、実に多くの人たちが様々に生活創りを工夫していました。SNSなどで配信される映像は、まさしく「家庭科」なのでした。家庭科という学問は、子供たちの生活創りには、本当に大切なのです。

新型コロナは確かに、感染者も増えてきていますが、感染を予防しながら日常生活を送る「With コロナ」の時代へと移行しつつあります。何かと制限を強いられ、今までと同じようにできなくなってしまった子供たちです。しかし、今だからこそできることがないかと、全職員で知恵を出し合って、しなやかな思考で学校運営をしていきたいと思っています。

## 「With コロナ」とは言いつつも、学校からのお願い!

昨日の熊日によると、「熊本県と熊本市は5日、1589人の新型コロナウイルス感染を確認したと発表した。今年1月27日の1275人を大幅に上回り、**過去最多**となった。新規感染者が千人を超えるのは、2月8日以来。前週の火曜日と比べてほぼ倍増し、13日連続で前週の同じ曜日を上回った。」とあります。中でも10代の感染者が多く、学校は常に学級・学校閉鎖と隣合わせの状態です。そこで、リスクレベル2の状態が続いていますので、**ご家族の誰かが風邪症状がある場合は、お子さんの登校はさせず、自宅待機**となります。今一度気を引き締めて、学校へのご協力をお願いします。